

## 再評価結果（平成26年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課  
担当課長名：茅野 牧夫

事業名	地域高規格道路 <small>とやまたかやま</small> 富山高山連絡道路 一般国道41号 <small>いのたににれはらどうろ</small> 猪谷榆原道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北陸地方整備局
起終点	自：富山県富山市猪谷 至：富山県富山市榆原			延長	7.4 km
<b>事業概要</b> 一般国道41号猪谷榆原道路は、地域高規格道路富山高山連絡道路の一部を形成し、災害に強い幹線道路ネットワークの形成、事前通行規制区間（連続雨量120mm）の回避、急カーブ・急勾配区間及び冬期交通障害の回避などを目的とした、延長7.4kmのバイパス事業である。					
H9年度事業化	H1年度都市計画決定 (H1年度変更)	H13年度用地着手	H14年度工事着手		
全体事業費		約300億円	事業進捗率	69%	供用済延長
5.8 km					
<b>地域の防災面の課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前通行規制区間（2区間：L=3.6km）を抱えているため、災害等による通行規制が発生（過去40年間年平均：0.9回・約48時間）</li> <li>・防災点検における危険箇所が点在（要対策：3箇所 定期点検箇所：46箇所）</li> <li>・通行規制区間に囲まれた集落の孤立化が懸念</li> <li>・急カーブ・急勾配区間が点在し、登坂不能などの冬期間における交通障害が発生（年平均：2.1件）</li> <li>・地域住民の生活道路や救急搬送ルートとして機能しているが、災害発生時に代替する路線がないため地域住民の社会的活動が停止するほか、迅速な救命救急活動を阻害</li> <li>・上記のように周辺地域に与える影響が大きいため、富山市等からも改善の要望が出されているなど地域の喫緊の課題となっている。</li> </ul>					
<b>課題を踏まえた対策・事業内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前通行規制区間等を回避するため、現道のうち4.6km区間を別線整備（橋梁により神通川右岸へのバイパス整備）。</li> <li>・現道が存在する左岸は、神通川とJR高山線に挟まれているほか、現道両脇には急峻な斜面が連続しており、左岸側で整備する場合は大規模なトンネル整備が必要となることから、一部右岸へのバイパス整備とした。</li> </ul>					
<b>事業の効果等</b> ① 災害時の迂回解消を含めた走行時間短縮等 (280億円(残事業=124億円)) ② 災害による被害の回避等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・孤立集落の解消による社会的活動損失の減少</li> <li>・救急搬送の効率化及び遅延の回避</li> <li>・災害に強い道路ネットワークの形成</li> <li>・冬期交通障害の解消</li> </ul>				<b>費用</b> (残事業) / (事業全体) 83 / 343億円 (事業費：75 / 318億円 維持管理費：7.2 / 26億円)	
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 地域から頂いた主な意見等： 富山高山連絡道路整備促進期成同盟会や富山・岐阜両県から整備促進の要望を受けている。 知事の意見： 事業継続に同意する。 なお、今後ともコスト縮減に努め、早期に効果が発揮されるよう整備促進に格段の配慮を願いたい。					
<b>事業評価監視委員会の意見</b> 対応方針については、北陸地方整備局原案を妥当と判断するが、今後は以下に留意されたい。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路幅員の増加や歩道確保に伴う道路利用者の事故への安心感、他に代替道路の無い道路の強化に伴う地域住民の防災的観点からの安心感の向上についても事業の評価に積極的に加えられるよう検討すべき。</li> </ul>					
<b>事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成17年4月に旧富山市、細入村が富山市として合併。</li> <li>・平成20年7月に東海北陸自動車道が飛騨清見IC～白川郷ICの開通により全線開通。</li> </ul>					

・平成22年11月までに富山市庵谷～楡原（L=3.0km）完成2車線開通。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成14年度に工事着手して、事業進捗率69%、そのうち用地進捗率96%となっている。

残事業の内容：富山市猪谷～同市片掛間（L=1.6km）の完成2車線整備。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

残事業区間である富山市猪谷～片掛間（L=1.6km）について、早期の完成2車線開通を目指し、事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等

・縦断線形の見直しによる盛土量の低減等によるコスト縮減に努めている。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

事業の効果及び進捗状況、事業評価監視委員会における審議、地方公共団体等の意見を踏まえると、事業の必要性、重要性に変化なく、防災面の効果が見込まれるため。

事業概要図



※1 事業の効果に記載している金額は、防災面の効果を完成後50年間の便益額として現在価値化して算出した値であり、試算値を含む。

※2 費用に記載している金額は、現在価値化して算出した値。